

進路指導部通信 2014

親和女子高等学校進路指導部

天候も回復し歓迎遠足や1日遠足が無事に終わりました。当日、高校2年生といっしょに摩耶山に登りましたが、目的地の掬星台では以前に中学1年生で実施した耐寒登山に植樹した山桜が美しく咲いていたのを見ることができ、よい日になりました。春の遠足は登山などしっかり歩くことが目的の一つです。歩くといえば軽度の有酸素運動ですが、有酸素運動というのは記憶力を高めるのによいそうです。勉強に疲れたら、散歩など、ちょっとした運動を取り入れてみてはどうでしょうか。

生活のリズムを大切に

新学期が始まって2週間が経ちました。今年から土曜日に授業が実施となりましたが順調スタートできたでしょうか。定期的な休日が週に1日となったことから以前より増して授業のあるときの家庭学習、日曜日の過ごし方、睡眠時間の確保など、生活にメリハリをしっかりとつけていくことが大切です。以下の点をいま一度、見直してください。

- ① 毎日の宿題や課題、予習、復習などはその日中に取り組んでいますか。
- ② 睡眠時間をしっかり取っていますか。できれば12時には寝るようにしましょう。
- ③ 日曜日の過ごし方を考えていますか。平日にはできない教科や課題に振り当てていますか。

赤本の貸し出しが活発に

前回、進路指導室の利用を案内したことで進路閲覧室を訪ねてくる生徒が増えました。高3生の中には赤本(大学別の入試問題集)を借りにくる生徒もいます。もちろん赤本の問題を解くことも大切ですが、それ以前に大切なことがあります。それは赤本に目を通すことによって次のことが把握できることです。それによって、自分の取り組む学習の目標設定ができます。そして普段の授業がいかに大切であるかということもわかると思います。高3生に限らず、高2生も早い時期から手に取ってほしいと思います。

- ① 出題の形式 記述式か空欄補充か
たとえば、地歴では用語を正確に漢字でしっかりと書かせる入試もあります。
- ② 出題の量や解答時間
たとえば、神戸大の数学であれば 文系は大問3題で80分、理系は大問5題で120分など
- ③ 出題のレベル いま学んでいることのどのレベルの内容が出題されるのか
入試問題の多くは範囲を跨いだ総合問題ですが、いま、みなさんが学習している教科書の内容から出題されています。とくにセンター試験は100%教科書の内容から出題されます。

Keistsu Press 2015年入試用 新課程のポイント大学入試 虎の巻 を配布

4月15日の高校3年の進路説明会で2015年度入試用の資料として『虎の巻』は配布しました。担任の先生方からの要望もあり、高校1年、高校2年生にも本日、配布しました。この春の実施された2014年入試速報、2015年大学入試のタイムスケジュール、新課程「数学・理科」のポイント、2015年入試のシステム(センター試験、一般入試、推薦入試、AO入試など)、大学進学のマナープランなどが非常にコンパクトにまとまっています。一度、目を通してみてください。また保護者にとっても大切な資料ですので必ず読んでいただきましょう。

「指定校制推薦入試」と「公募制推薦入試」の違いは？

よく質問を受けることに「指定校制推薦入試」と「公募制推薦入試」の違いがあります。今回はその2つについてまとめてみました。どちらも虎の巻に詳しく書かれていますのでそちらを参考にしてください。昨年の高校3年で指定校推薦入試を利用して進学した人は25名です。文系は関関同立を中心に、理系は薬学部を中心に利用しています。

指定校制推薦入試

一般入試での合格者、入学者などの実績がある高校に対して私立大学が成績要項などを定めて、学校長に入学希望者の推薦を依頼する入試制度です。高校との信頼関係に基づいて書類や面接により審査されるため、ほぼ受験生全員が合格します。現在、本校では高校3年生の文Ⅲコース、文Ⅱコース、理Ⅱコースの生徒のみが対象で、文Ⅰ、理Ⅰコースでは指定校制推薦入試は利用できません。

公募制推薦入試

どの学校からも評定平均値の基準などを満たし、学校長の推薦があれば応募できる入試制度です。一般にその基準や定員などの出願資格や受験科目などの受験情報は大学のホームページや入試要項で確認できます。各クラスにおいてある蛍雪時代の9月号にも詳細な情報が掲載されています。指定校制とは違い、英語や数学など一般科目の学力試験などを課されることが多いので早めの対策が必要。指定校制とは違い、どのコースからも出願できます。また1校あたりの人数制限がある場合には校内の推薦入試選考委員会で選出された人のみが出願できます。

図書館にある『学習の進め方』に関する本！

学習の進め方は100人いたら100通りあるものです。自分にあったノートの取り方、進め方がそれぞれあると思いますが、ときには効率よく学習を進めている人からよい点を取り入れることも大切なことだと思います。本校の図書館には、参考となる学習方法やノートの取り方の本がたくさんあります。中学生向けの学習方法の本もありますが、今回、高校生向けに書かれた図書館にある本を3冊紹介します。

① 現役東大生がすすめる 合格ノート（編者 現役東大生グループ+志望校突破戦略研究会）

ノートの取り方をはじめ、模試・過去問の活用の仕方、参考書や問題集の改造テクニックについて書かれています。

② 東大合格生のノートはかならず美しい（著者 太田あや）

ノートづくりで東大に合格した人たちが経験を踏まえながら、教科ごとのノートづくりを実際のノートを提示して示しています。この本によれば共通の7つの法則がどのノートにもあるそうです。

③ 新 受験勉強入門（著者 和田秀樹）

効率よく暗記する方法、基礎力を強化すること、科目別の勉強法マニュアルについて丁寧に説明した本

進路関係行事予定

高3 総合学力記述模試の時間割

4月24日（木）	午前	4限授業			
	午後	13:10～14:40	英語（90分）	リスニングあり	
		14:55～16:35（16:55）	数学X（100分）、	数学Y（120分）	
4月25日（金）	8:40～9:00	カード記入			
	文系	9:00～9:50	社会①（50分）	理系 9:00～10:00	理科①（60分）
		9:50～10:40	社会②（50分）	10:00～11:00	理科②（60分）
		11:00～12:00	理科①（60分）	11:20～12:10	社会①（50分）
		12:50～14:20	国語（90分）	12:50～14:20	国語（90分）

<保護者の方々にも手渡して読んでいただきましょう>

進路指導部通信2015など進路指導部が発信する情報を親和女子高等学校のHPで閲覧できます。

ホームページアドレス <http://www.kobe-shinwa.ed.jp/>